

# 介護福祉士としての「実務に関する経験」は介護系職種の中で重要です

Q. 福祉の資格をめざすなら“社会福祉士”って 言われるけど…

A. 介護系の施設では、まず、介護職としての「実務に関する経験」が大切になるため、社会福祉士の資格だけではとても心配です。4年間で効率よく、社会福祉士と介護福祉士の両方の資格を取得する方法は次の通りです。

介護の現場の経験を大切にしています



社会福祉士は、福祉サービスの相談援助業務を専門的にを行うことを目的に作られた国家資格です。主に、福祉系の4年制大学に進学し、国家試験の合格を経て取得できますが、毎年の合格率は27%前後で、非常に難関な試験となっています。

社会福祉士として活躍できる職場には、福祉事務所・児童相談所などの行政機関、知的障がい者更生施設などの障がい者施設、社会福祉協議会などがありますが、高齢者介護施設をはじめ、医療や障害者施設からの求人が多いこともあり、福祉系大学の新卒者の大半はそこへ就職していきます。

介護施設で 相談援助業務の対象となる方々 はご利用者の家族、つまり50代後半以上の方々が中心のために、その相談業務には「豊かな経験」と「高度な知識」が必要となってきます。すなわち、大学の新卒者がすぐにこなせる仕事ではありません。そのため、福祉系大学の新卒者は、通常、数年間介護の現場を経験し、能力に応じて相談業務につくケースがほとんどです。つまり、社会福祉士の仕事をする前に、介護職を経験する必要があります。

ところが、同じ福祉系の国家資格でも、介護福祉士と社会福祉士の教育課程は異なっており、社会福祉士の教育を受けただけでは、介護職としての仕事は困難です。そのため、最近では、介護の知識・技術を身に付けるために、社会福祉士の資格と合わせて介護福祉士の資格を取得してくる新卒者も現れてきました。このような人たちは最初から“即戦力”として期待されるため、結果的に与えられるチャンスが多くなり、同期の新卒者よりも、とても早く相談援助業務に就いています。

社会福祉士と介護福祉士の 両方の資格を最短4年間で取得する方法として、本学のような2年制の短大で実践力を身につけ、福祉系大学への3年次編入する方法も、とても効率的です。ちなみに、本学から指定校推薦制度を活用して4年制福祉系大学の3年次に編入する方法も活用できます(西南学院大学人間科学部1名を含め、14大学の3年次編入指定校特別推薦枠の実績)。

# 短期大学で介護福祉士を取得した後に介護就職することのメリット

Q. 介護の仕事に就くのに、「就職」と「進学」ズバリ! どちらが有利ですか?

A. 短期大学の介護福祉士養成学科で学んだ方がはるかに有利です! 現在、介護福祉士を取得するには  
① 介護福祉士養成校(学科)へ進学して取得する方法  
② 介護施設へ就職して3年間の経験と実務者研修(半年以上)を経て国家試験合格で取得する方法 = 『実務経験ルート』  
の2つの方法がありますが、①のルートが、はるかに介護現場でのキャリア形成につながります。



## I 介護福祉士養成校(学科)への進学が有利な理由

1 専門的な知識と技能を基礎から学べます

2年間の修学で専門的な知識や技能をしっかりと学びますので、就職してすぐに即戦力として対応でき、さらに、右記に示す『ケアマネジャー(介護支援専門員)』等の新たな資格取得への大きな礎(いしずえ)になります。さらに、本学では、高齢者の肺炎予防のための「口腔ケア」の実践力が身に付けられるとともに、卒業後すぐに「医療的ケア」を実践する際に必要な資格(公的名称:認定特定行為業務従事者の資格)の取得もできます。

2 介護福祉士の資格を取得しておくことが大切です

介護福祉士養成校(学科)における介護福祉士の国家試験は、2020年度(平成32年度)の入学生までは、卒業と同時に国試免除で介護福祉士が取得できます。条件として、「5年間の期間限定」の資格の扱いになりますが、5年間介護施設に継続勤務することで、国家試験を受けることなく、この「期間限定」を解除し、介護福祉士の資格を保持できます



3 『ケアマネジャー(介護支援専門員)』等の新たな資格への大きな礎(いしずえ)

介護現場では、介護福祉士等の資格をもちながら、『ケアマネジャー(介護支援専門員)』という新たな資格を取得することでキャリアアップと給与アップができます。『ケアマネジャー』は、医師・薬剤師・看護師の人たちも資格を取得する介護支援のエキスパートであり、その資格取得のための試験にも、専門的な知識と技能が必要になります。ちなみに、本学には『ケアマネジャー』を取得している専任教員が4名おり、「介護支援」の観点からも専門教育にあたっています。

## II 実務経験ルート(介護就職)が不利な理由

① 実務経験ルートでの介護福祉士の資格を取得する困難さ

介護施設で働く場合、遅かれ早かれ介護福祉士の資格を取得しなければなりません。介護福祉士国家試験の受験資格は3年間の実務経験が必要です。しかも、2016年度の国試から「450時間の実務者研修修了」が義務付けられます。国家試験の受験日は毎年1月の最終土曜日に設定されています。間違えられやすいのは、実務3年目に受験できると思われることです。しかし実際は3年間経った後、つまり、働きはじめて4年目の1月に受験となります。さらに、実務者の国家試験合格率は60%前後。ストレートで合格できれば、5年目から資格登録ができますが、不合格の場合は翌年に再度受験しなければなりません。そこで合格しても資格登録は6年目。失敗すれば……とても先の長い状況になってしまい、このことが介護職を離れていく要因にもなっています。

② 根拠(エビデンス)に基づく介護と専門性を学ぶチャンスが無いデメリット

就職した後に専門性を身に付ける学習は、働きながらのため時間が限られていることから、『国家試験対策の学習』になってしまうのが現状です。また、実務者研修も通信講座が中心となっているため、対策用の教科書やタブレットを用いた学習になり、とても、根拠(エビデンス)に基づいた介護や専門性を学ぶチャンスは期待できません。

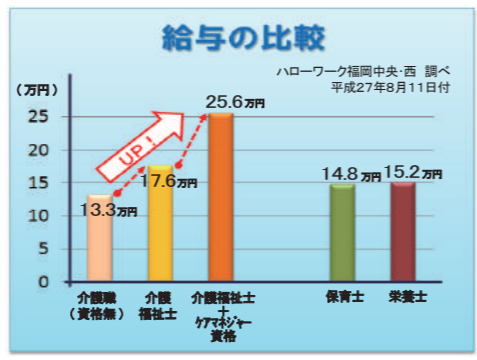
このことから、国試の出題傾向が高い項目や得意分野を中心とした勉強に偏りがちで、出題傾向が低い項目や不得意な分野は軽視しがちになってしまいます。しかし、その中には介護福祉士として、とても大切な内容も数多く含まれており、国家試験対策だけの勉強では十分な基礎力を身に付けることができないのです。

これに加え、高校からすぐに介護施設へ就職した方の退職率が約70%を超えているとの報告(くらしき総合福祉専門学校からの報告)もあり、実務経験ルートは進路としてとてもお勧めできないのが現状です。

③ 資格がないがゆえの低い給与の問題

介護職において、低い給与が特にクローズアップされるのは、介護福祉士等の資格を持たない『無資格』の介護職が多いようです。ハローワーク福岡中央のデータでも、無資格の介護職の賃金(精動手当、通勤手当等含まず)は13.3万円です。一方、介護福祉士の賃金は17.6万円、ケアマネジャー(介護支援専門員)は25.6万円と、資格の有無が大きく影響しています。

ちなみに、短大卒の代表的な職種である保育士や栄養士の給与は、それぞれ14.8万円、15.2万円です。



# リクナビ進学「未来へつながる、学びが見えてくる!」 「やりたいことを見つけよう!介護福祉士」を紹介します

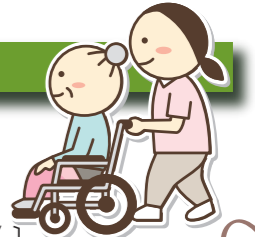


## 介護福祉士のやりがい

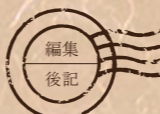
人の役に立っていることを日々実感できることが介護福祉士にとってのやりがい。自分たちが考えたレクリエーションや食事のメニューなどでお年寄りたちが笑顔になるのを見るのもやりがいを感じる場面だ。また、認知症を患っていたり、精神的に安定していないお年寄りが相手の場合は必ずしも自分たちの気持ちがストレートに通じるとは限らない。それでも根気強く接し続けることで相手の反応が少しずつ変わってくることもあり、そんな瞬間にもこの仕事ならではのよこびがある。

## 介護福祉士の年収

平均給与 21万8400円/月 ※福祉施設介護員の平均給与。  
年間賞与その他特別給与額 47万4400円  
■厚生労働省「平成24年賃金構造基本統計調査」  
[リクナビ進学 未来へつながる、学びが見えてくる!から引用 http://shingakunet.com/bunnya/w0032/x0414/]



昔から、「仕事人が育てる」「技を盗む」「門前の小僧、習わぬ経を読む」など、現場で仕事の流儀を覚え、その実践を通して技能を身につけるやり方が言われてきました。また、「大学には、理論はあるが実践がない」などと揶揄されることもありますが、大学の専門教育に限っては全く当てはまりません。というのも、医療・介護の現場では、医学的根拠(エビデンス)に基づく治療・支援が重要であり、限られた経験だけに基いて治療や支援を行うことは大変危険な状況につながるからです。さらに、「職場の実務を通じて仕事を覚える」ことをOJT(On-the-Job Training、オン・ザ・ジョブ・トレーニング)と呼び、ビジネスにおける人材育成の柱の一つになっていますが、「意図的・計画的・継続的」の3つのポイントが重要であり、指導者の力量が伴わない場合には、新人の能力向上どころかその可能性の芽を摘んでしまうことが指摘されています。やはり、専門教育を通じて基礎的な知識と技能を身に付けたうえで、実践の中でより専門性を高めながらキャリアアップを図ることが求められます。(保健福祉学科・編集委員 Y.O.)



進学の先の就職強みあり 給与とやりがい 福祉の仕事  
短大の学びの向こうに新たな資格 卒後5年で ケアマネジャー